

## 提言に向けての主な論点について

## 分野1 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

項目	検討に当たっての視点等
	<u>第1回の意見等</u>
1 移住や若者の回帰・定着に向けた情報発信について	<p>・秋田の魅力を伝える（移住）・企業情報等を受け手に確実に伝える（若者の回帰定着）ための手法や体制など</p> <p>・<u>東京と秋田のどちらがいいかという話ではなくて、どうい</u> <u>う人はどういうところがいいのかということを考えるべ</u> <u>きではないか。</u></p>
2 若年女性の社会減対策について	<p>・20代、30代女性の社会減に歯止めをかけるための手法や体制など</p> <p>・<u>女性の県外流出による社会減や出生数の減少という課題</u> <u>があるが、県から出て行くタイミングではなく、戻って</u> <u>くるタイミングを捉えて戻ってこられるような施策や方針が</u> <u>必要ではないか。</u></p>

## 分野2 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

項目	検討に当たっての視点等
	<u>第1回の意見等</u>
3 次世代が結婚・出産・子育てに希望を抱ける社会づくりについて	<p>・結婚・出産・子育てに県民が前向きな希望を持てるような取組など</p> <p>・<u>秋田での子育てが楽しいと言っている母親が多いと感じ</u> <u>ている。子育てを楽しんでいる姿が身近にあれば、子育て</u> <u>にも前向きになれるし、「もっと産みたい、育てたい」と</u> <u>いう意識が強まるのではないか。そういった母親同士、子</u> <u>ども同士の交流を増やすことが必要ではないか。</u></p>
4 結婚支援について	<p>・独身男女の出会いの機会の創出について効果的な手法や支援など</p> <p>・<u>晩婚化が進んでいる要因としてライフスタイルの多様化</u> <u>等があると思うが、結婚や子育てを経験することにより実</u> <u>感できる幸せもあると思う。それぞれの人生においてロー</u></p>

	<u>ルモデルとなるような姿や経験を発信する必要があるのではないか。</u>
5 出産・子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産・子育てそれぞれの段階における当事者のニーズに応じたサービスのあり方など</li> <li>・今後の経済的支援のあり方など</li> </ul>

### 分野3 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

項目	検討に当たっての視点等
	<u>第1回の意見等</u>
6 女性活躍の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場や地域社会における女性の活躍促進の効果的な取組など</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>仕事と子育てを両立している女性たちの姿を見せていくことができれば、次の世代の人たちへの何よりのアピールになるのではないか。</u></li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>女性が働きやすい職場環境づくりについては、実感としては、大企業はともかく、中小企業には限界がある。</u> <u>女性が起業して自立していくという形も考えられるが、女性が起業するには金融機関からの資金調達を例にとっても相当に困難であることから、行政が伴走して支援していく仕組みを整えることが必要である。</u></li> </ul>
7 ワークライフバランスの実現について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに仕事と生活を調和した生活を実現させるための取組など</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>リモートワークや在宅勤務といった多様な働き方については、今のタイミングこそが採り入れる好機だと思うが、企業の「生き残り」の中で「働き方」を変えないといけないという視点で取組を進めることが、企業トップの意識改革につながるのではないか。</u></li> </ul>
8 若者活躍の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における若者の社会参加や新たなチャレンジを応援する取組など</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>何もしない若者がたくさんいて、そういう若者が変わっていけるような環境を我々が作っていかなければならないと考えているが、そのためには行政には身近な存在になってほしい。</u></li> </ul>

分野4 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり

項目	検討に当たっての視点等 <u>第1回の意見等</u>
9 新たなコミュニティの形成と集落機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ機能を確保するための将来像の検討や支援など</li> <li>・買い物、交通、行政サービスなどの維持の取組など</li> </ul>
10 地域活動団体等の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動団体の自立に向けた支援など</li> </ul> <hr/> <p>・コミュニティビジネスは、利益追求とボランティアのどちらに偏っても続かない。そのバランスがすごく難しいが、利益のないところに発展はないのではないか。</p>
11 企業の地域づくりへの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりの主体として民間企業の参加促進など（人的・資金的参加を含む）</li> </ul>
12 その他様々な主体・層の地域づくりへの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老若男女あらゆる世代・様々な主体の地域づくりへの参加促進など</li> </ul> <hr/> <p>・まちづくり、地域づくりは、行政主導ではなく民間主導で行うべきだと思うが、行政には同じ目線で寄り添った支援をお願いしたい。</p> <hr/> <p>・地域づくりにしても、若者の活躍支援にしても、様々な活動の継続には経済的な要素が大きく関わってくる。県外からの外貨を稼ぐという意味で他の施策との連携が必要ではないか。</p>